



発行所：特定非営利活動法人 ベトナム子ども基金

〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館内

電話/FAX：03-3945-2415

電子メール：info@v-c-f.org

ホームページ：http://www.v-c-f.org/

ベトナム子ども基金通信

No. 61
2014. 6. 20



里親会員・故塩谷隆さんが2006年に増設の寄付をしたドンナン省フーリ村のパウファン小学校の子どもたち
(2013年11月 撮影)

在米の里親
Maret 飛鳥さんから
事務局へ送られてきた
メールをご紹介します。



親の考えはそれぞれですね。農業で貧しい中、子供全員を銀行から借金しても勉強させ続ける Le Hoang 君のご両親の気持ち。Le 君ももうすぐ卒業ですし妹さんも大学生ですから光が見えて来ているね。

新しい里子、MAI THI BICH THUONG ちゃん、事情を読んだら泣けてきました。お金だけでなく亡くなられたお母さんの代わりに1ミリでもなれるようなあたにかい交流で心の支えになればと

思います。どうぞよろしくおねがいします。

たくさんの苦しい状況にある子どもたちのことを思うとこの世の格差に愕然とします。アメリカにいと日本に居るときよりもっと、経済格差、そしてそれをさらに加速する経済システム、その格差を修正しない教育システムによる教育地域格差を目の当たりにします。日本は外へ出てみるとずいぶん社会的な国であったのだと実感します。それがだんだん失われつつあることが恐ろしいです。やはり教育がすべて。

それにしても MAI THI BICH THUONG ちゃんの家ではおばあちゃんの年金収入2,000円だけで

一家3人が食べている。お兄さんも中学生、おばあちゃんが元気に長生きしてほしいものです。気持ちは2人に支援したいですが、一つの家族だけに成績等関係なく2人支援が行くと言うことはきっとルールで出来ないでしょうね。ねたまれたりしそうですし。他にもたくさんの同じような状況の子どもたちが支援を待っているのだろうし。やるせないです。親戚の一人になったような心持ちであるのに苦しさを知りながら何もしてあげられない。

自分も支援を続けられるようまずは元気でいなくてははいけません！健康第一。笑（太極拳が私を助けています）

2013年度活動報告(2013年4月1日～2014年3月31日)

NPO法人ベトナム子ども基金は、ベトナムの経済的に困難な家庭環境で勉強している子どもたちを「励まし、支援し」、彼らが未来への希望を見出せるようにお手伝いをしてまいりました。来る2014年6月29日(日)14:00から「2014年度通常会員総会」をアジア文化会館(〒113-8642 東京都文京区本駒込2-12-13)で開催いたします。お陰さまで第5期の決算を迎えることができました。皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

総会で決議されました件については次回の通信にて報告させていただきます。総会終了後には15:00頃から、東京大学修士課程を修了され、現在、ベトナムと日本の企業提携のためのコンサルティングをされているベトナム人元留学生、ダオ ユイ アンさんにベトナム最新事情についてお話しして戴きます。どなたでもご参加可能ですので、どうぞ、友人、知人をお誘いの上ご参加ください。ご参加お待ちしております。

毎年、基本的には1月、2月に里子の履歴票を手元にお届けするはずでしたが、事務局スタッフの入れ替えなどがあり、履歴票の発送が遅れご心配をおかけいたしましたことをお詫びいたします。また、今年は青葉奨学会において大学生・専門学校生の奨学生の確定に時間がかかっており、そのような里子をお持ちの里親会員の皆様にはまだお手元に履歴票が届いていない方も多いと思いますが、もう少しお待ちください。

今年度の特徴的な活動と成果の概要は次の通りです。

1、奨学金支給事業

〈ベトナム青葉奨学会〉

・奨学金事業(2013年1月1日～12月31日)

小学生72名(48ドル/1人) 中学生112名(72ドル) 高校生100名(96ドル)
 大学・専門学校生34名(96ドル) 管理費1人1カ月1ドル分の1,724,907円
 残金は2014年度中に送金予定

・春の木運動

2014年1月23、24日にLAO CAI省

2014年1月22日にTHANH HOA省

それぞれに防寒着400着支給 396,000円

・黄梅基金(2013年4月1日～2014年3月31日)

子ども基金(団体) 黄梅基金 30,000円

野村基金 149,976円

LeNghi-Kizuka Scholarship 300,000円

Senga Tsuneo 基金 350,000円

〈BETOAJI奨学基金〉

・奨学金事業(2013年9月1日～2014年8月31日)

Dak Lak省Ea Sup郡にて小学生50名(7200円/1人) 管理費1人1年間1,500円 計435,000円

・春の木運動(2014年1月17日)

Dak Lak省Ea Sup郡にて制服200着 帽子200個を支給 200,000円

・ベトナム中部台風被害支援(2014年2月23日)

Nghe An省Thanh Chuong郡の小中学校にて小学生253名 中学生227名に防寒着を支給 200,000円

2、その他の支援事業

・ベトナム小学校での歯磨き指導

NGUYEN VAN DEP小学校へ水道を設置 20,355円

春の木運動のご報告

多くの方々からあたたかいご支援をいただきありがとうございました。

春の木運動（ベトナムの子どもにお正月に新しい制服や防寒着を送る運動。）のご報告をさせていただきます。今年も多くの方々からあたたかいご支援をいただき、合計で796,000円をベトナムの子ども達に送ることができました。子どもたちに代わり、皆様のお気持ちに感謝申し上げます。

今年は青葉奨学会へ396,000円 BETOAJI 奨学基金へ400,000万円届けさせていただきました。

ベトナムは南国のイメージが強いですが、北部では冬になると日中でも11～12℃までしか上がらず、防寒着が必要な地域もかなりあります。しかし、家庭の事情で一枚の防寒着を兄弟で交互に着たり、防寒着を用意してもらえない子どもたちも多くおり、その子どもたちに暖かい防寒着を届けたいというハウエ先生のご要望で今回は青葉奨学会では防寒着を送らせていただきました。

青葉奨学会からの報告です。（事務局 ユンさんより）

春の木の活動についてですが、今年1月23、24日にLAO CAI省（北部・少数民族が多い）と1月22日にTHANH HOA省（中北部）に、春の木2014（Cay Mua Xuan 2014）を行いました。

ドンズー日本語学校の学生、学校の教師、職員が中心になり募金活動を行い、ホーチミン市内の企業、海外の支援してくださる皆様から募金を集めることができました。幼児と小学生に防寒着を送らせていただきました。家に防寒着がない子どもたちが多く、みんな本当に喜んでおりました。冬にかぜをひかなくてすみそうです。THANH HOA省とLAO CAI省にそれぞれ400着ずつ送らせて頂きました。

ベトナム子ども基金の皆様には本当に感謝しております。活動の写真を送らせていただきます。引き続きご支援どうぞよろしお願い申し上げます。

THANH HOA省での活動 2014年1月22日



Thiet Ong II小学校



喜んで家に帰っていく子どもたち

2014年1月23日 LAO CAI省 Muong Khuong区



2014年1月24日 Bac Ha区 Ta Chai小学校



2014年1月24日 Si Ma Cai 区Lu Than幼稚園



BETOAJI奨学基金からの報告です(代表 タイさんより)

1、春の木の活動(テトの活動)

2014年1月17日、Ea Sup省での小中学校の貧しい学生たちにテトプレゼント304セット(服、帽子、ノート)相当60,800,000VND(34万円、その中、20万円が子ども基金の寄付)をあげました。

この機会に、BETOAJIは子ども基金とBETOAJIの奨学金をもらっている50人の学生たちとも会いました。一学期の奨学金分をもらった学生たちの成績は:

- ・50人のうち45人は去年の良い成績を維持することができた。
- ・2人が勉強せずにゲームなどに没頭したせいで成績を落とした。
- ・3人がクラスの勉強が難しすぎて、ついていけないので成績を落とした。来学期クラスの皆さんについていけるようになると約束してくれました。

テトの前に新しい服を貰えて、皆とても嬉しかったようでした。304人全員が集まってくれました。この日、Ea Sup省の教育課の代表者、地域の学校の責任者、軍事委員会の人も子供たちにプレゼントするために来てくれました。

2014年1月17日—子供たちがプレゼントをもらった時の写真



2、「第3回ベトナム中部へ向けて」チャリティ活動

2014年2月23日 Nghe An省

Nghe An省 Thanh Chuong 県 Thanh Tung村に行き、小中学生たちに500着の防寒着、幼稚園の子供たちにプレゼント200セット(タオル、ハブラシ、歯磨き粉、ケーキ)をあげました。今回のプレゼント総額は60,000,000VND=30万円で、そのうちベトナム子ども基金からは20万円支援をいただきました。この地域はNghe An省で一番貧しいところで、毎年洪水の被害を受けています。

- ・学校と学生たちの感想：「学生たちが寒い冬に防寒着もらえて、とても感動し嬉しかったです。」学校の責任者もベトナム子ども基金に対して深い感謝の意を表しました。村長はわざわざ迎えに来てくださり、「現地の学生たちにとって、もらったプレゼントが精神的に大きな意味があり、継続して学校に通うように励ましてくれる存在である」とおっしゃっていました。
- ・現地の子供たちと学校の責任者の希望：現地で、貧しいが勉強に熱心な学生たちがまだいっぱいいるので、もっとベトナム子ども基金及びBETOAJIのような団体から支援を頂ければと学校の責任者がおっしゃっていました。BETOAJIも機会があれば、この地域にもう一度戻りたいと思っています。

2014年2月23日の写真





トナムからの手紙

KODOMO KIKIN様、
ドンズー日本語学校でお仕事をしてくださる皆様

わたしは、1994年生まれのフィン・チュン・ヒエウです。学生番号は、KO-1421です。

まず、皆様のご健康と、お仕事のご成功と、ご安泰をお祈りします。

わたしは、10年生の時から(2010年)、大学1年(2013年)までの4年間、里親様のご支援をいただきました。里親様のご恩は、わたしにとってとても大きいです。この里親様のご支援がなかったら、今日まで勉強を続けることはできませんでした。大学に合格するという夢は実現しました。けれど、大学に入ってから、わたしの目標は、自分の勉強という小さいものではなくなりました。社会には、まだまだたくさんの困難があり、人々の助けが必要だと思えます。戦士墓地整備や、夏休みのボランティア活動でTra Vinh省での道路舗装などに参加しました。今年2014年は、もっと力を出したいと思えます。

わたしは、今年20歳です。ホーチミン市工科大学2年生です。いつも、自立して自分の足で立ちたいと望んでいます。わたしは、自活できます。ですから、わたしは、奨学金の申請を控えさせていただきます。わたし自身、それが現在の境遇にふさわしいと思えます。

わたしは、もう大きくなりましたし、家族の生活も今のところ安定しています。わたしの奨学金を、他のわたしより大変な状況にある子に譲りたいです。里親様、わたしの奨学金を、他の学生に譲ることをご承諾ください。

終わりに、里親様、KODOMO KIKINの皆様、ドンズー日本語学校でお仕事をしてくださる皆様に、心からのお礼を申し上げます。このご恩は決して忘れません。

ホーチミン市、2014年2月17日
フィン・チュン・ヒエウ

.....
里親様

まず、里親様のご健康をお伺いいたします。里親様、お元気ですか。お仕事はいかがですか。すべて順調ですか。ご家族の皆さんもお元気ですね。ご家族の皆さんのご健康をお伺いさせていただきます。

わたしは、ファム・フィン・フーン・グエンです。今は、Long An医療専門学校で勉強しています。今年度も奨学金を続けてくださって、お礼を申し上げます。この奨学金で、わたしの勉強の条件は良くなります。母の苦労も軽減します。わたしの家族は4人です。祖母は年老いているし、わたしたち姉弟はまだ学生です。それに、弟はもうすぐ大学の試験です。ですから、すべてが母の肩にかかっています。

里親様の奨学金で、家族の苦労や心配が減りました。母も、疲れ

る仕事の後で、少し休む時間が取れます。このお金は、わたしにとっては無限の価値がある、物質的にも精神的にもとても大きな贈り物で、里親様と祖母や母の愛情に応えるために一生懸命勉強するエネルギーの大きな助けになります。

里親様、医療の勉強で病院に行き、大変な境遇の人がたくさんいるのを目の当たりにしました。ある人は、高齢で病弱、けれど子や孫は遠くに働きに行き、世話をすることができません。ある人は、貧しい上に、難病を患っています。また、生まれつき心臓の病気の子どももいます。わたしは、自分はまだ幸せだと感じます。そして、人の役に立つ人になるために、病気の人たちが勉強や仕事を続けられるように元気になる手伝いをするために、がんばって勉強しようという力が湧いてきます。これを実現するためには、きっととてもたくさんの困難や、苦労があるでしょう。でも、里親様、安心してください。わたしは、がんばって自分の道を歩いて行きます。

手紙が長くなりました。ここで、自分の話を終わります。わたしは、里親様がいつもお元気でいらっしゃることを、お仕事でも生活でもいつもお幸せでいらっしゃることをお祈りしています。ご家族の皆さんにもお元気でとお伝えください。いつか、また里親様にお会いできることを願っています。

Thanh Duc、2014年5月22日
ファム・フィン・フーン・グエン

青葉奨学会事務局 新スタッフ紹介

2013年5月、責任者リエンさんが家庭の事情で退職し、
ファム ティ ゴック ユンさんが後任として就任しました。

また、事務スタッフとしてチャン ティ スオン レーさんが加わりました。

ユンさんは元公務員で、皆様のお手元に届いた2014年の
年賀カードはユンさんのデザインです。

レーさんは、ドンズー日本語学校で日本語の勉強を始め
ました。週3回勤務後に勉強しています。

尚、皆様から子ども達への手紙は、これまで通りドンズー
日本語学校教員と学生が協力して翻訳します。



レーさん（手前） ユンさん

ベトナム子ども基金 新しい仲間の紹介

4月にベトナムのホウエ先生のドンズー日本語学校（ホーチミン・10名）とムイ先生のタンロン技術学院（ハノイ・1名）からアジア文化会館のABKカレッジに11名の留学生がやってきました。

学生たちはアジア文化会館のすぐそばの一軒屋で共同生活をしております！「日本のお米はおいしい！」
と言い、なんとお米を2日で5キロ食べる成長盛り？です。まだ日本語は勉強中ですが、子ども基金の発送
や資料作りの作業を手伝ってくれております！皆様とも交流できることを楽しみにしております。



基金を手伝うフイさん（右）



みんな元気！

スタッフ募集！

「認定NPO」を取得するため皆様のお力が必要です。ご協力お願いいたします。

☆会報『ベトナム子ども基金通信』のデザインをしてくださる方

☆経理の経験があり、経理をお手伝いしてくさる方

●事務局から

◆事務局だより

少ない人数のボランティアで事務局作業をしておりますので認定NPO取得のための作業に追われ、ニュースレターの発行が遅くなりました。お詫びいたします。現在事務局では近藤、岡村が中心となり活動しております。

ぜひ、お近くにお越しの際は事務局にお立ち寄りください! (午後だとおりますので、お電話ください。) ベトナムの子どもたちの教育支援について語り合しましょう!

われわれの活動は子ども達への小さな励ましです。子どもたちが大きく育つために皆様の温かい気持ちが必要です。この活動に参加して下さるすべての皆様が子ども達と「喜びをわかちあえる」ように一緒に協力してまいりましょう!

◆ベトナム子ども基金会員募集! (友人・知人をお誘いください。ご協力お願いします!)

里親基金：年額1口 20,000円 学生会員：年額1口 10,000円	特定の子どもに「里子」として奨学金を支給する「里親」になっていただきます。ベトナム青葉奨学会から、子どもと家族の状況を説明する履歴票が届き、里子との手紙のやりとりができます。
一般基金：年額1口 12,000円	子どもたち全体の「里親」という関係を想定しています。通信を通じて会の運営報告、子どもたちの様子などをお伝えします。
賛助基金	一般基金に準じます。金額、回数などいっさい自由です。
学校建設黄梅基金	青葉奨学会と相談の上、ベトナムの辺地に学校を建設します。該当学校に青葉奨学会に併設することも可能です。
個別黄梅基金 1口30万円以上	個人またはグループで黄梅基金を設立し、預金利子を奨学金とします。基金の名前、支援地域・学校等は、ご相談の上決定します。
ベトナム黄梅基金 1口10,000円	複数のベトナム子ども基金会員で基金を設立し、預金利子を奨学金とします。

ベトナム子ども基金へのご寄付は、下記の口座をお願いいたします。

口座名(共通) 特定非営利活動法人ベトナム子ども基金 (カナ): トクヒ ベトナムコドモキキン
 里親基金用(一般、賛助基金を含む) 郵便振替 00100-6-546799 みずほ銀行駒込支店 普通:1121865
 黄梅基金用(個別寄付、学校建設を含む) 郵便振替 00130-4-552361 みずほ銀行駒込支店 普通:1121873

☆既に会費をご送金くださった方には恐縮ですが、今回は払込取扱票を同封させて頂きました。これからご送金される方はご利用ください。

◆認定NPO取得に向けて!

すでに、2012年6月16日の通常会員総会 第5号議案にて「認定NPO取得申請」が議決されておりましたが、人手不足の為作業が進みませんでした。現在、認定NPO取得をめざし、会の運営を簡素化し、会員制度も整理しております。認定NPOの取得申請には事業期間2年間の判定期間が必要となります。第5期(2013年4月1日~2014年3月31日) 第6期(2014年4月1日~2015年3月31日)を判定期間として、第6期終了後に都庁へ認定NPO申請を行いたいと思っております。認定NPOの取得は、ご支援くださる皆様にとっても税控除があり、またこれから会がさらに発展し、より多くの子どもたちに支援を続けられる組織になるために必要だと考えられます。ご理解とご協力をお願いいたします。